

令和5年度 第1回 河輪小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年 5月 11日（木） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 河輪小学校 1階会議室
- 3 出席委員 鈴木大介、渋谷德行、太田尚吾、藤田正治、藤田沙奈江、間宮年弘
中村健二、袴田 伯領
- 4 欠席委員 長谷川豪、大橋信恵
- 5 オブザーバー 飯田一明（南陽協働センター所長）
- 6 学 校 太田賀子（校長）、和久田仁（教頭）、櫻井伸夫（教務主任）、
鈴木江利子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - （1）議長の選出について
 - （2）令和5年度の学校運営の基本方針、令和5年度コミュニティ・スクールについて
 - （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について
 - （4）いじめ防止等のための基本的な方針について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木江利子
- 10 会議記録
司会の間宮委員から、委員過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
- 11（1）議長の選出について
司会から1年間会長に議長をお願いしたいという旨が伝えられ、全員が了承した。

（2）令和5年度の学校運営の基本方針（資料参照）
 - ・椅子を替えたとのことで子供たちの姿勢が良くなり、集中できると思う。3年生の座禅も心を落ち着けるという点で良いと思う。自分が考えるには子供たちの語彙が必要だと思うので、学校で増やす努力をお願いしたい。（袴田委員）
 - ・自分の中国駐在の際、日本の文化について十分な説明をするのが困難に感じたので語彙は必要だと思う。ニュースで報じられているチャットGTPは社会で使うことが進められていく。しかし教師側は疑いの目で見ることが必要だと思う。正解だとしか見えないが、鵜呑みにしていいのか疑問がある。（渋谷委員）
 - ・グランドデザインのキャリア教育を核とした人づくりは素晴らしいと思う。地域の人間として学校の支えとなる助けをしていきたい。（太田委員）
 - ・小学生の体力低下を心配している。知力・体力どちらも大切だと思うので、成長過程における体力作りをお願いしたい。（藤田正治委員）
 - ・4月に引き渡し訓練があったが、実際に災害が起こったらどういうタイミングで引き渡しをする計画かを知りたい。天龍川氾濫、津波などいろいろ考えられる。食料確保がされている

かも心配だ。(中村委員)

- ・キャリア教育を核とした人づくりが良いと思う。千利休の名言「和敬清寂」清らかな心、心が動かないなど必要なことだと思う。(藤田沙奈江委員)
- ・キャリア教育を核とした人づくりの内容から校長先生の思いが伝わる。人と「かかわる力」を小学生の頃から育てたい。同級生だけでなく上の学年、下の学年の子どもとかかわるようにしたい。今年の「浜松まつり」で経験できたが、学年を越えた活動を大切にしたい。(間宮委員)
- ・たてわり清掃やなかよし遊びを毎年実施しているが、異学年同士のつながりを大切にしていきたい。(校長)

令和5年度コミュニティ・スクールについて(別紙参照)

- ・6年生に生き方授業を実現し、生き方について考え、夢と現実について深く考えさせたい。学校の取組など周知活動を心掛け地域に情報発信していきたい。(校長)
- ・150周年記念の取組を地域に知らせ、学校のことを理解してもらおうと良い。(渋谷委員)
- ・便りで地域の人に知らせてほしい。(太田委員)
- ・便りがよくまとめられていると思うが、回覧物は誰もがみられるようにしたいし、分かりやすい内容にしてほしい。(藤田沙奈江委員)
- ・現在学習ボランティアは足りているのか。足りないようなら声掛けの協力をしたい。6年生の生き方授業のプランがあるのか知りたい。(中村委員)
- ・地域の方で活躍されている方経営者の方など、さまざまな職種を実際に見る、聞くことで子供は自分の生き方について考える機会となる。(校長)
- ・地域にはその分野のことを詳しく御存じの方や世界大会に出品されているような方もいるので学校にかかわってほしい。(藤田沙奈江委員)
- ・子供たちの夢実現のために手助けしたい。それは正しい夢か、たとえば医者になったからゴールではなく、そこからがスタートで、患者を助けたいとか正しいゴールを目指す子供を育ててほしい。10年前にはユーチューバーになりたい子が多くなった時には予想できなかったが、未来や世界の変化が激しい。(間宮委員)
- ・「やさしく たくましく 輝く子」を目指していきたい。(鈴木委員)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について(別紙参照)

- ・全員の承認が得られた。

(4) いじめ防止等のための基本的な方針について(別紙参照)

- ・「はままつマナー」とはどういうものか。(鈴木会長)
- ・浜松市教育委員会で製作した冊子で、それを基にマナーを学ぶようになっている。(教務主任)
- ・いじめだけでなく不登校・引きこもりの子に手を差しのべる方法があるか。(中村委員)
- ・学習や友達のことなどで適応できない子供に対する体制を整えている。SC、SSW、医療など多方面からアプローチできるようにしている。市としては「まなびの教室」が開設されてい

る。(校長)

- ・地域、保護者、学校が連携して「いじめ見逃しゼロ」を目指したい。(袴田委員)
- ・小学校では学級担任が担当する授業が多いので、担任が問題を一人で抱えない、組織的に速やかに対応するようにしている。また、単級の学年があるので学年団主任を設定し、高学年では教科担任制、低学年は複数の教員で授業を進めるようにして「報(ほう)・連(れん)・相(そう)」を大切にしている。(校長)
- ・重大事態を避けることが大切。「やめろ。」といえる周囲の子どもを育てる、仲間同士で「いじめ」をなくす、いい仲間作りができるようにしたい。そのために地域でも助け合っていきたい。(間宮委員)
- ・認め合う、より正しい行動ができるようにしたい。(校長)
- ・交通ボランティアで朝の登校の様子を見ているが、今の様子には安心している。(太田委員)

12 連絡事項

- ・創立150周年記念の取組について
- ・第2回学校運営協議会 令和5年10月30日(月) 14:00~16:00
- ・第3回学校運営協議会 令和6年 2月20日(火) 14:00~16:00